

3. 2016年の事業報告と2017年の事業計画（案）の審議提案通り承認

4. ISTTの運営等について（問題意識など）

- ・ISTTの登記地はロンドンであるが無人、イギリスのEU離脱やポンド安の問題などを提起。問題意識をもっている。
- ・ISTT運営の3極（新体制、規約、会計監査）の考え方、ISTT役割や運営について共通認識を深めるために理事会の考え方を説明。

5. 新Websiteの説明

6. ISTT会長、副会長、事務局等と各国STTと個別面談

- ・日本でNo-Dig開催の要望

以上の話し合いが行われました。

【展示会・論文発表】

展示会及び論文発表は、両方が同時開催を行わない方式となっており来場者が分散するということはありません。出展社は190社を数え、JSTT会員としてPALTEM/芦森工業(株)様と管清工業(株)様に出席いただきました。PALTEM/芦森工業(株)様はNASTT's No-Dig Show 出展3年目とのことで、知名度も上がり訪問者も増え、手ごたえを感じている様子でした。

論文発表では、約160本の論文をトラック1～6まで展開し開催されています。日本からは島田教授（九州大学）が4月12日トラック4で「Application of Pipe Jacking Technology into ASEAN Countries」の発表を行いました。



島田教授（九州大学）

■ 第9回通常総会及び理事会の開催

(1) 第9回通常総会

6月19日（月）午後3時45分よりホテルルポール麹町（東京都千代田区平川町）にて、一般社団法人日本非開削技術協会の第9回通常総会を開催いたしました。審議事項は①平成28年度事業計画及び決算②任期満了に伴う役員（理事・監事）の選任の2件とともに提案通り可決しました。新任は理事5名・監事1名、退任は理事4名・監事1名で、役員は理事18名（1名増）、監事2名、顧問2名となりました。

(2) 第19回理事会

6月19日（月）午後3時00分より、総会に先立ち第19回理事会を開催し、平成28年度事業計画及び決算について審議・了承するとともに任期満了に伴う役員候補の確認を行いました。

(3) 第20回理事会

総会にて役員を選任後、理事会にて代表理事及び副会長を決定しました。代表理事には森田弘昭氏（日本大学教授）、副会長には石川和秀氏（全国ヒューム管協会専務理事）、楠田哲也氏（九州大学高等研究院特別顧問）、天野博史（前NTTアクセスサービスシステム研究所長）に決定しました。

■ 非開削技術講演会の開催

7月24日（月）午後1時30分～午後5時00分 発明会館、地下ホールにおいて第24回非開削技術講演会を開催しました。本年度のテーマは、「地下空間の活用と地下ライフラインの再構築に向けて」と題し下記の6名の方々の発表とパネルディスカッションを行いました。参加者は約180名でした。

1. 各地下ライフライン設置事業者による現状と課題の発表

- ・（上水）東京都水道局建設部工務課長 中谷誠一氏
- ・（下水）東京都下水道局計画調整部緊急重点雨水対策事業担当課長 武藤真氏
- ・（電力）東京電力パワーグリッド(株)工務部管路・土木技術担当 吉本正浩氏
- ・（通信）東日本電信電話(株)ネットワーク事業推進

本部エンジニアリング部基盤設備部門長

二宮 真 氏

・(行政) 京都市建設局道路建設部道路環境整備課
事業促進担当課長

岩村謙次 氏

・(JSTT) ソーシャルコスト検討委員会委員長

宮武昌志 氏

2. パネルディスカッション

演題：「地下空間の利活用と地下ライフラインの再
構築に向けて」

コーディネーター JSTT副会長 石川和秀

パネリスト 上記講演者6名

■ JSTT 委員会活動

(1) 機関誌「No-Dig Today」編集委員会、 編集企画小委員会

【第102回編集委員会】

4月21日(金)編集委員会を開催しました。機関誌「No-Dig Today」99号(平成29年4月1日発行)の完成状況について確認しました。また、100号(平成29年4月1日発行)の掲載内容及び執筆依頼の状況について企画通りの進捗状況を確認しました。

101号以降の企画(第7クール)として、「会員談話室」「編集後記」の執筆者を委員による持回りとすることを確認した。また、「100号広告の取組み」について論議し、承認されました。

【第103回編集委員会】

6月16日(金)編集委員会を開催しました。機関誌「No-Dig Today」第100号の完成状況を確認し、6月19日(月)開催の第9回総会の折に配付することとしました。

101号以降の連載「知っていますか、技術のあれこれ」を4回にわたり「IT技術特集」とするとともに第7クールの機関誌「No-Dig Today」の表紙を海外のISTTの加盟国の街並みとすることとしました。また、101号に掲載予定の海外イベント報告などの内容を確認しました。

【第131回編集企画小委員会】

4月21日(金)編集企画小委員会を開催しました。機関誌「No-Dig Today」第100号の入稿状況の確認や機関誌「No-Dig Today」第100号の執筆依頼状況

を確認しました。

101号以降の表紙、連載「知っていますか、技術のあれこれ」の連載内容のテーマやモニターの実施等について論議を継続することとしました。「編集後記」や「会員談話室」については一定の整理を図りました。

【第132回編集企画小委員会】

5月26日(金)編集企画小委員会を開催しました。機関誌「No-Dig Today」第100号の入稿状況について確認し、内容の構成等最終確認を行いました。

第3回機関誌「No-Dig Today」モニターを10月号から実施することとしました。また、101号以降の表紙、連載「知っていますか技術のあれこれ」等は継続審議としました。

【第133回編集企画小委員会】

6月16日(金)編集企画小委員会を開催しました。100号の完成状況を確認しました。

表紙はISTT加盟国の街並み、連載「知っていますか技術のあれこれ」を4回にわたり「IT技術特集」とすることとしました。また、101号の技術特集の執筆依頼先の検討を行うとともに、101号に掲載予定の内容について審議しました。

【第134回編集企画小委員会】

9月4日(月)編集企画小委員会を開催しました。表紙の写真(ISTT本部のロンドン)を決めるとともに101号の入稿状況が予定通りであることを確認しました。

また、102号の特集「大口径管路の非開削建設技術」の執筆依頼先を検討し、了承されました。

(2) 工法ナビゲーション運営委員会

【第58回工法ナビゲーション運営委員会】

5月17日(水)工法ナビゲーション運営委員会を開催しました。工法ナビの問合せ件数やアクセス数は昨年同月で増加傾向にあることが報告されました。平成29年度の取組みとして「推進・シールド切換型工法」について整理することとしました。また、各工法協会のビデオをYouTubeに収容するとともに英語表記も検討することとしました。

【第59回工法ナビゲーション運営委員会】

9月6日(水)工法ナビゲーション運営委員会を開催しました。工法ナビの問合せ件数やアクセス数は昨年同月で増加傾向にあることが報告されました。

地下探査技術の工法ナビの掲載内容について、地下探査委員会とさらに調整の上、報告することとしました。

(3) 技術委員会

【第84回技術委員会】

5月10日(水)第84回技術委員会を開催しました。第25回非開削技術講演会の内容について審議し、本年度のテーマは、「地下空間の利活用と地下ライフラインの再構築に向けて」とし、第一部として地下ライフライン事業者(行政、下水、水道、電力、ガス、通信等)の地下パイプラインの現状と再構築の取組みを報告していただき、第二部として発表頂いた方々とコーディネーターを交え、地下ライフラインの再構築における地下空間利活用という視点に立ってパネルディスカッションを行うこととしました。

また、各委員会活動や海外活動等について報告がありました。

「第24回非開削技術講演会」

日 時：平成29年7月24日(月) 13:30～16:30

場 所：発明会館 地下ホール

内 容：「第一部」各地下ライフライン設置事業者による現状と課題の発表
上水、下水、電力、通信、行政等

「第二部」パネルディスカッション

演 題：「地下空間の利活用と地下ライフラインの再構築に向けて」

【第85回技術委員会】

8月4日(金)第85回技術委員会を開催しました。第28回非開削技術研究発表会の提出論文(20件)の採否について審議するとともにセッションや座長を下記のとおり決定しました。

また、各委員会活動や海外活動等について報告がありました。

「第28回非開削技術研究発表会」

日 時：平成29年10月18日(木) 9:00～17:20

場 所：発明会館 地下ホール

第1セッション5論文 推進事例(曲線施工、障害物)

座長：石堂委員

第2セッション3論文 推進事例

(既設構造物への直接到達)

座長：佐々木委員

第3セッション3論文 推進

(計測、補助工法、シュミレーション)

座長：尾崎委員

第4セッション5論文 改築、耐震化、強靱化、管路更生

座長：宮武委員

第5セッション4論文 探査、調査、診断

座長：木下委員

特別講演「北米における管路更生工法の経年劣化総合試験結果」

講師：Raymond Sterling氏

(ルイジアナ工科大学名誉教授)

(4) ソーシャルコスト検討委員会

【第24回ソーシャルコスト検討委員会】

7月20日(木)ソーシャルコスト検討委員会を開催しました。「手引き(案)」の普及・PRを目指すために購入者に利用方法などのアンケートの検討や道路管理者・警察・企連協・インフラ事業者等への説明などに取り組むこととしました。また、来る9月11日土木学会全国大会第72回年次学術講演会(九州大学)での発表の役割を決定するとともに平成30年1月土木学会第23回地下空間シンポジウムでの発表申請をすることとしました。

あわせて協会が主催する「非開削技術講習会(東京・大阪)」の講師を決定しました。

(5) 地下探査技術員会

【第23回地下探査技術員会】

3月21日(火)地下探査技術委員会を開催しました。適用の手引き(案)の意見や要望を調査するためにアンケートの実施を検討することとしました。また、協会が主催する「非開削技術講習会(東京・大阪)」の講師を決定するとともに工法ナビゲーションシステムへの掲載について工法ナビゲーション運営委員会と調整することとしました。さらに、地下探査技術者(仮称)の育成について今後論議していくこととしました。